

令和5年6月30日

課名 商工労働局商工労働総務課

担当者 課長 藤原

内線 3310

令和4年度指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

1 要旨

指定管理者制度を導入している商工労働局関係3施設について、令和4年度の管理運営状況を報告する。

2 導入施設

施設名	指定管理者
広島県立広島産業会館	公益財団法人ひろしま産業振興機構
広島県立ふくやま産業交流館	株式会社イズミテクノ
広島県立産業技術交流センター	公益財団法人ひろしま産業振興機構

3 施設の概要及び管理運営状況

別紙のとおり

令和4年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

商工労働総務課

1 施設の概要等

施設名	広島県立広島産業会館		
所在地	広島市南区比治山本町12-18		
設置目的	産業及び地域の振興に資する		
施設・設備	展示場(9室), 会議室(1室), 控室等(13室), 駐車場(平日 385台/土日祝日 452台)等		
指定管理者	5期目	R 3.4.1~R 8.3.31	(公財) ひろしま産業振興機構
	4期目	H28.4.1~R 3.3.31	(公財) ひろしま産業振興機構
	3期目	H23.4.1~H28.3.31	(公財) ひろしま産業振興機構
	2期目	H20.4.1~H23.3.31	(公財) ひろしま産業振興機構
	1期目	H17.4.1~H20.3.31	(財) ひろしま産業振興機構

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	面積稼働率	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	5期	R4	28.0%	39.1%	11.9ポイント
R3		22.0%	27.2%	△18.8ポイント	5.2ポイント (123.6%)
	4期平均 H28~R2	49.8%	46.0%	△0.8ポイント	△3.8ポイント (92.4%)
	3期平均 H23~H27	45.0%	46.8%	6.5ポイント	1.8ポイント (104.0%)
	2期平均 H20~H22	43.7%	40.3%	△6.4ポイント	△3.4ポイント (92.2%)
	1期平均 H17~H19	—	46.7%	5.7ポイント	—
	H16(導入前)	—	41.0%	—	—
増減理由	新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、ワクチン大規模接種会場等に利用されたことや、ウィズコロナの浸透に伴い、大規模催事が順調に実施されたこと等により目標値を大きく上回った。				

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	1. 催事主催者アンケート(利用満足度等調査)	103件回収(359件のうち回収率28.8%)
	2. 利用者アンケート(利用者が希望する催事)	503件回収(500件の目標を達成)
	【主な意見】	【その対応状況】
1. 催事主催者満足度 ① スタッフ対応 満足 90.3%(R3 85.0%) ② 施設・設備 満足 67.0%(R3 70.1%) ③ 開催目的の成果 満足 68.0%(R3 70.1%) ④ 今後の利用意向 したい 92.2%(R3 41.8%)	① 懇切・丁寧な対応を今後とも継続し、リピーターを確保 ② 5月中旬の冷温水発生機の故障判明後、催事開催時にスポットクーラーと氷柱で冷房機能を代替 ③ ウィズコロナの浸透により催事者マインドが回復傾向にある一方で、集客数の伸び悩みもあることから、イベント情報の提供手段を強化	
2. 利用者が希望する催事は 【第1位】音楽興行、【第2位】趣味娯楽、【第3位】玩具・ゲーム展示即売	今後の集客数増に繋げる自主事業の検討材料とする。	
2. コミュニティFMによる催事PRでは不十分	フリーペーパーを活用したPRも行う。	

4 県の業務点検等の状況

項目	実績	備考
報告書	年度	○ 事業報告書
	月報	○ 利用状況報告書
	日報(必要随時)	○ 必要時に随時電話及びメールで報告
管理運営会議(随時)	【指定管理者の意見】 本館・東展示館は築50年以上、西展示館は築30年以上を経過し、老朽化が著しいことから、修繕の規模や目的、性質により県との役割分担を明確にした上で対応する。	
現地調査(随時)	【県の対応】 指定管理者と連携し、長期保全計画による修繕及び利用者ニーズを踏まえた設備等の改修を進めていく。	

5 県委託料の状況

(単位：千円)

年度	金額		対前年度増減		年度	金額		対前年度増減	
	5期	R4	10,225	10,225		5期	R4	265,035	83,395
	R3	—	△11,129		R3	181,640	△117,595		
4期平均 H28～R2		11,129	11,129	4期平均 H28～R2		299,235	△14,382		
3期平均 H23～H27		—	—	3期平均 H23～H27		313,617	57,552		
2期平均 H20～H22		—	—	2期平均 H20～H22		256,065	△43,297		
1期平均 H17～H19		—	—	1期平均 H17～H19		299,362	62,242		
H16 (導入前)		—	—	H16 (導入前)		237,120	—		

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		R4 決算額	R3 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	10,225	—	10,225	光熱費高騰に係る委託料の増
		料金収入	265,035	181,640	83,395	利用料金制(※1) ワクチン大規模接種会場の利用及び 大規模催事の利用による増
		その他収入	2,689	2,651	38	事業協力金の増
		計(A)	277,949	184,291	93,658	
	支出	人件費	30,109	39,278	△9,169	プロパー職員1名の退職による減
		光熱水費	33,122	20,851	12,272	電気・ガス料金の高騰による増
		設備等保守点検費	8,494	7,771	723	西館の冷温水発生機故障に伴う保守点検 回数が増
		清掃・警備費等	69,034	68,558	476	催事件数の増による管理委託業者の時間 外手当等人件費の増
		施設維持修繕費	13,342	3,690	9,652	西館展示場の漏水による緊急工事、西館 冷温水発生機故障による応急対応による 増
		事務局費	24,748	23,747	1,001	PC更新による増
その他		11,940	5,725	6,215	消費税の増	
計(B)	190,789	169,620	21,169			
収支①(A-B)		87,160	14,671	72,489		
自主事業 (※2)	収入(C)	0	0	0		
	支出(D)	0	0	0		
	収支②(C-D)	0	0	0		
合計収支(①+②)		87,160	14,671	72,489	変動納付金 87,160 千円	

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。
指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び
指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の設置目的に沿った業務実績 ○業務の実施による, 県民サービスの向上 ○業務の実施による, 施設の利用促進 ○施設の維持管理 	<p>施設のバリアフリー対策として、本館の階段に障がい者のための階段昇降機（車椅子用リフト）を設置するとともに、バルコニーからの敷居を跨いだ入退室がスムーズに行えるよう、スロープを設置した。</p> <p>広島市及びその近郊を放送エリアとするコミュニティFM放送局で、月に一度、翌月の広島産業会館のイベントを効果的にPRし、催事者の定着促進とリスナーへの会館の認知度の向上を図った。</p> <p>「広島 BOX～メイド・インひろしまギャラリー」や「C-LOUNGE デザインギャラリー」において、県内製品等の展示等を行うとともに、「メッセひろしまギャラリー」において広島で活躍するクリエイターや企業等の新たな成功事例等を紹介した。</p> <p>築30年以上を経過し、老朽化している西展示館において、商談室と控室の天井とカーテンをリニューアルした。</p>	<p>施設の老朽化が進む中、利用者の利用促進につながるリニューアルを進めることで、満足度の向上に努めている。</p> <p>マスコミとの連携によりイベントの効果的なPRを行う等、利用促進に積極的に取り組んでいる。</p>
管理の人的基礎	<ul style="list-style-type: none"> ○組織体制の見直し ○効率的な業務運営 ○収支の適正 	<p>不測の事態に備え、原則として館長もしくは課長が常駐する執行体制や職員間の緊急連絡網を構築した。</p> <p>燃料費高騰による光熱水費の増加を踏まえ、支障のない範囲で修繕工事の延期を行うなど、支出の削減に努めた。</p>	<p>燃料費高騰による光熱水費の増加を踏まえ、可能な範囲で支出の削減に努めることにより、収支の適正を図っている。</p>
総括		<p>新型コロナウイルスワクチン大規模接種会場として利用されたことや、大規模催事が順調に実施されたこと等により、展示場利用延床面積は771,115 m²、面積稼働率は39.1%となり、目標の28.0%を大きく上回った。それに伴い、収支は黒字となり、87,160千円を県に納付することができた。</p>	<p>県のワクチン大規模接種会場として利用されたことなどにより、面積稼働率は目標値を達成しており、収支も黒字であった。利用促進に向けて適切な運営を行っている。</p>

8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
<p>短期的な対応 (令和5年度)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 燃料費の高騰による光熱水費の増加に対しては、国・県の方針を踏まえつつ、収支予測を行った上で、適切に対応する。 ○ 老朽化した施設の機能維持や修繕など、利用者の要望が多い箇所については、収支状況を見極めながら、適宜・適切な更新・整備を行うことにより、利用者の満足度の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 燃料費の高騰による光熱水費の増加については、国の状況を注視しつつ、指定管理者と県で連携し、適切に対応する。 ○ 利用促進及び計画的かつ効果的な修繕に向けて県と指定管理者で連携して進めていく。
<p>中期的な対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ウィズコロナの浸透により、展示会やイベント等を活用した企業のPR活動は回復傾向にあるものの、全盛期(H30)の65%程度に止まっていることから、継続的な営業活動を行う必要がある。 ○ 新たな利用料金割引制度を営業ツールとした利用率向上策の検討など、安定した収入の確保に向けて取り組む。 ○ 顧客への訪問営業や休眠しているリピーターの掘り起こし、閑散期や稼働率の低い会場の利用促進策を検討する。 ○ DX化の成功事例の紹介など、地域企業の課題解決に向けたタイムリーなテーマで開催される展示会・セミナー等の誘致を検討する。 	<p>利用者の利便性、施設の魅力向上により展示場の利用促進を図るため、指定管理者の取り組みをサポートしていく。</p>

令和4年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

商工労働総務課

1 施設の概要等

施設名	広島県立ふくやま産業交流館		
所在地	福山市御幸町上岩成正戸476-5		
設置目的	産業及び地域の振興に資する		
施設・設備	大展示室（4室）、小展示室（2室）、研修室（1室）、会議室等（6室）、駐車場（876台）等		
指定管理者	5期目	R 3.4.1～R 8.3.31	株式会社イズミテクノ
	4期目	H28.4.1～R 3.3.31	株式会社オオケン
	3期目	H23.4.1～H28.3.31	株式会社オオケン
	2期目	H20.4.1～H23.3.31	福山商工会議所
	1期目	H17.4.1～H20.3.31	福山商工会議所

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	面積稼働率	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	5期	R4	22.5%	28.5%	△1.1ポイント
R3		22.5%	29.6%	6.1ポイント	7.1ポイント (131.6%)
	4期平均 H28～R2	29.3%	23.5%	△4.8ポイント	△5.8ポイント (80.2%)
	3期平均 H23～H27	35.0%	28.3%	△1.1ポイント	△6.7ポイント (80.9%)
	2期平均 H20～H22	39.0%	29.4%	△7.3ポイント	△9.6ポイント (75.4%)
	1期平均 H17～H19	—	36.7%	△3.8ポイント	—
	(導入前)	—	40.5%	—	—
増減理由	新型コロナウイルスワクチン接種会場として利用されたこと及びコロナ禍以前に行われていた催事が一部再開されたことから、当初の目標数値を上回った。				

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	○アンケートの実施	○施設利用者（主催者）17団体
	○意見箱の設置	○58件回収
	【主な意見】	【その対応状況】
	掃除機が重くて使いにくい	貸出用の掃除機を購入
	会議室の机の更新を希望	会議室用の机を6脚購入し、交換した。
駐車区分が分かりにくい	ホールごとに行っている路面標示の塗り直しを行い、駐車区分をわかりやすくした。	

4 県の業務点検等の状況

項目	実績	備考
報告書	年度	○ 事業報告書
	月報	○ 利用状況報告書、収受計算書、面積稼働率
	日報（必要随時）	○ 必要時に電話もしくはメールで確認
管理運営会議（計12回・現地）	【特記事項等】 毎月1回以上各部門の代表者で集まり運営状況や課題の共有 【指定管理者の意見】 利用者の利便性の向上や快適な環境を保持するため、施設・設備機器の更新や修繕等について県と連携を取りながら対応する。 【県の対応】 指定管理者からの報告を受け、現地調査を行い、施設等の安全性を確認した。	
現地調査（随時）		

5 県委託料の状況

(単位：千円)

県委託料 (決算額)	年度		金額	対前年度増減	料金 収入 (決算額)	年度		金額	対前年度増減
	5期	R4 R3				5期	R4 R3		
		R4	7,551	7,551			R4	126,118	3,630
		R3	—	△14,553			R3	122,488	23,110
	4期平均 H28～R2		14,553	14,553		4期平均 H28～R2		99,378	△16,910
	3期平均 H23～H27		—	△5,416		3期平均 H23～H27		116,288	8,969
	2期平均 H20～H22		5,416	5,416		2期平均 H20～H22		107,319	△34,894
	1期平均 H17～H19		—	—		1期平均 H17～H19		142,213	1,478
	H16 (導入前)		—	—		H16 (導入前)		140,735	—

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		R4 決算額	R3 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	7,551	—	7,551	光熱費高騰に伴う委託料の増
		料金収入	126,118	122,488	3,630	利用料金制(※1) ワクチン大規模接種会場の利用による増
		その他収入	1,697	756	941	自販機売上等の増
		計(A)	135,366	123,244	12,122	
	支出	人件費	24,559	23,549	1,010	職員の昇給による給与費の増
		光熱水費	26,530	23,985	2,545	電気・重油料金の高騰による増
		設備等保守点検費	18,000	18,000	0	
		清掃・警備費等	21,215	21,000	215	第3駐車場地下臨時清掃による増
		施設維持修繕費	5,921	7,283	△1,362	修繕箇所が減
		事務局費	6,241	8,739	△2,498	消耗品費の減
		その他	13,850	6,101	7,749	利用促進事業「スポーツフェスタ」 「ゆめフェスタ」の実施による増
	計(B)	116,316	108,657	7,659		
		収支①(A-B)	19,050	14,587	4,463	
	自主事業 (※2)	収入(C)	515	29	486	カルチャースクール定期講座実施による増
支出(D)		1,251	671	580		
収支②(C-D)		△736	△642	△94		
合計収支(①+②)		18,314	13,945	4,369	変動納付金 16,483 千円	

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。
指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の設置目的に沿った業務実績 ○業務の実施による, 県民サービスの向上 ○業務の実施による, 施設の利用促進 ○施設の維持管理 	<p>利用団体会場責任者への直接のヒアリングやアンケート等でニーズの把握や利用者の意見を反映した施設づくりに努めた。</p> <p>以前より要望があった会議室及び研修室でインターネット回線が使えるようにし利便性の向上を図った。</p> <p>これまで利用目的としてほぼなかったスポーツ利用を伸ばすため、利用促進事業として「スポーツフェスタ」の開催や地域の方の来館のきっかけづくりのため「ゆめフェスタ」を開催するなど利用促進を行った。</p> <p>設備担当者や委託業者と綿密に連携を図り施設の不具合箇所には即対応することで利用者の方へ快適に施設を利用いただけるよう努めた。</p>	<p>利用者が快適に施設を利用できるよう、ニーズの把握や改善を行いながら、適切な管理運営を行うことができている。</p> <p>従来の利用目的にとらわれることなく、スポーツ利用を伸ばすための利用促進事業を実施するなど、施設の利用促進に向け着実に取り組むことができている。</p>
管理の人的物的基礎	<ul style="list-style-type: none"> ○組織体制の見直し ○効率的な業務運営 ○収支の適正 	<p>開館日は館長もしくは副館長が在籍し、責任者が対応できる勤務体制を確保した。また、施設運営の経験豊富な職員を配置し、様々な事案に迅速に対応できる体制を構築した。</p> <p>温度設定や照明の時間と場所の見直しを行うなど電気・重油使用量の削減を図った。また、修繕に関しても可能な限り自社施工を行うことで経費の削減を行った。</p> <p>毎月各部門の代表者が集まり利用状況や課題の共有を行うことで施設の効率的な運営に努めた。</p>	<p>省エネへの取り組みや修繕工事を自社施工で行うことによる経費の削減など、効率的な業務運営に努めている。</p>
総括		<p>前年度に引き続きコロナ禍の中での施設運営となったが「新型コロナウイルス感染拡大防止のための広島県の対処方針」を遵守し、感染防止対策を徹底する事で大きな不具合なく管理運営することができた。</p> <p>新型コロナ蔓延防止のため、多くの催事が中止になったもののコロナウイルスワクチン接種会場になったこともあり収支は改善した。</p>	<p>新型コロナワクチン大規模接種会場として利用されたことやコロナ禍以前に行われていた催事の一部再開により、面積稼働率の目標数値を達成するなど、適切な施設の管理運営を行っている。</p>

8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和5年度)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各種団体・企業へ積極的な営業活動及び自主事業の取組による施設利用率の向上。 ○ 修繕については安全面や利用者の支障をきたすものを最優先に実施し適正に管理していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 指定管理者との連携により、安全を最優先事項として修繕業務を着実に実施していく。
中期的な対応	<p>施設設置後 20 年以上経過し、設備の経年劣化が予想される。利用者の安全性を確保するとともに利用に支障をきたすことがないように、計画的な維持管理に努める。</p>	<p>施設の長寿命化に向けて、大規模修繕を計画的に実施していく。</p>

令和4年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

商工労働総務課

1 施設の概要等

施設名	広島県立産業技術交流センター		
所在地	広島市中区千田町三丁目7番47号		
設置目的	県内産業の振興を図る		
施設・設備	研修室・会議室等(5室), 多目的ホール(318㎡), 一般来客者用有料駐車場(85台)等		
指定管理者	8期目	R 4.4.1~R 9.3.31	公益財団法人ひろしま産業振興機構
	7期目	H29.4.1~R 4.3.31	公益財団法人ひろしま産業振興機構
	6期目	H26.4.1~H29.3.31	公益財団法人ひろしま産業振興機構
	5期目	H25.4.1~H26.3.31	公益財団法人ひろしま産業振興機構
	4期目	H24.4.1~H25.3.31	公益財団法人ひろしま産業振興機構
	3期目	H23.4.1~H24.3.31	公益財団法人ひろしま産業振興機構
	2期目	H20.4.1~H23.3.31	公益財団法人ひろしま産業振興機構
	1期目	H17.4.1~H20.3.31	財団法人ひろしま産業振興機構

2 施設利用状況

利用状況	年度		目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	8期	R4	1,300件	1,123件	118件	△177件(86.4%)
7期	R3	1,400件	1,005件	△159件	△395件(71.9%)	
	平均H29~R3		1,164件	△176件	△236件(83.1%)	
	6期平均 H26~H28		1,500件	1,340件	4件	△160件(89.3%)
	5期	H25	1,500件	1,336件	33件	△164件(89.1%)
	4期	H24	1,500件	1,303件	△65件	△197件(86.9%)
	3期	H23	1,500件	1,368件	△67件	△132件(91.2%)
	2期平均 H20~H22		1,500件	1,435件	295件	△65件(95.7%)
	1期平均 H17~H19		—	1,140件	△55件	—
	(導入前)		—	1,195件	—	—
増減理由	コロナの影響もあり目標値には達しなかったが、ウィズコロナの浸透に伴い、コロナ禍以前に行われていた研修等が一部再開したことなどにより、利用件数は前年度に比べて118件増加となった。					

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	大口利用者からの要望聞き取り及びアンケート調査	施設利用団体（入居団体及び年間3回以上利用）
	【主な意見】	【その対応状況】
	机・椅子の更新を希望 和式トイレの洋式化、自動水栓化	収支バランスを勘案しながら随時更新を行う。 令和5年度改修予定

4 県の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	利用状況報告書
	日報（必要随時）	—	
管理運営会議（随時）	【指定管理者の意見】 利用者の利便性の向上や快適な環境を保持するため、施設・設備機器の更新や修繕等について県と連携を取りながら対応する。		
現地調査（随時）	【県の対応】 長期保全計画を基本に、施設の実態を踏まえた上で安全面や利用者の利便性を優先して修繕等を実施する。		

5 県委託料の状況

(単位：千円)

年度	金額		対前年度増減		年度	金額		対前年度増減	
	8期	R4				8期	R4		
8期	R4	99,736		19,110	8期	R4	63,194		11,423
7期平均 H29~R3		80,626		9,508	7期平均 H29~R3		51,771		△2,653
6期平均 H26~H28		71,118		1,298	6期平均 H26~H28		54,424		634
5期 H25		69,820		0	5期 H25		53,790		1,531
4期 H24		69,820		△1,700	4期 H24		52,259		△1,190
3期 H23		71,520		△80	3期 H23		53,449		△2,237
2期平均 H20~H22		71,600		△5,096	2期平均 H20~H22		55,686		5,389
1期平均 H17~H19		76,696		△16,884	1期平均 H17~H19		50,297		△4,521
(導入前)		93,580		—	(導入前)		54,818		—

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		R4 決算額	R3 決算額	前年度差	主な増減理由等
収入	県委託料	99,736	84,500	15,236	光熱費高騰による 県からの委託料の増
	料金収入	63,194	46,453	16,741	利用料金制(※1) 研修室、駐車場の利用増、備品収入増
	その他収入	0	0	0	
	計(A)	162,930	130,953	31,977	
支出	人件費	18,849	18,956	△107	職員手当(時間外手当)の減
	光熱水費	57,186	29,942	27,244	電気・ガス料金の高騰による増
	設備等保守点検費	26,996	29,289	△2,293	委託先の一本化による委託費の減
	清掃・警備費等	34,220	36,157	△1,937	委託先の一本化による委託費の減
	施設維持修繕費	9,547	5,227	4,320	修繕費の増
	事務局費	6,511	5,680	831	備品購入費の増
	その他	9,407	5,702	3,705	会計システムの改修に伴う増
	計(B)	162,716	130,953	31,763	
収支①(A-B)		214	0	214	
自主事業(※2)	収入(C)	0	0	0	
	支出(D)	0	0	0	
	収支②(C-D)	0	0	0	
合計収支(①+②)		214	0	214	

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の設置目的に沿った業務実績 ○業務の実施による, 県民サービスの向上 ○業務の実施による, 施設の利用促進 ○施設の維持管理 	<p>大口利用者の要望及びアンケート調査結果から、駐車場料金の見直しを行ったところ利用台数、利用時間が増加した。休館日の臨時開館を行った。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、衛生環境面の向上を図るなど、感染拡大防止策に努めた。</p> <p>施設の大規模修繕に際し、施設管理者として現場調整を行った。(4年度に外壁改修、ガラス屋根改修工事)</p>	<p>施設サービス向上のため、休館日の臨時開館や計画的な付属設備の更新等、利用者の要望を踏まえた施設の管理を行っている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、衛生環境面の向上を図り、施設利用者への周知を徹底して行っていた。</p>
管理の人的物的基礎	<ul style="list-style-type: none"> ○組織体制の見直し ○効率的な業務運営 ○収支の適正 	<p>施設管理経験が豊富な職員を常駐させ、管理運営や苦情処理など迅速に対応した。</p> <p>施設管理業務(清掃・警備・設備等)の委託先を一本化したことで、経費節減と組織力強化を図った。</p>	<p>効率的な業務運営や施設管理業務に係る経費の削減に努めたと評価できる。</p>
総括		<p>利用者からサービスや施設・設備等に関する意見・要望等を聴取し、可能な限り迅速に管理運営へ反映させることに引き続き注力した。</p>	<p>利用者から積極的に意見収集を行い、駐車料金の見直しや休館日の臨時開館など、利用者目線に立った管理運営に取り組んでいる。</p>

8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和5年度)	<ul style="list-style-type: none"> ○老朽化した施設・設備機器の更新や修繕等を県と連携して計画的・継続的に取り組む。 ○基本的な感染予防対策に努め、利用件数の目標達成に向けて、新規顧客の獲得や継続利用の促進を図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○指定管理者と連携し、老朽化した施設・設備機器の更新や修繕等を計画的に行っていく。 ○基本的な感染予防対策に努めつつ、利用件数の目標達成に向けて、新規顧客の獲得や継続利用の促進のため営業活動を強化し、光熱水費の高騰にも対応できるよう収支バランスを確保していく必要がある。
中期的な対応	<p>光熱費高騰への対応策の検討、コロナ禍で貸会場利用のニーズ(対面からリモートへ)の変化を把握し、対応について県と協議する。</p>	<p>利用状況や利用者のニーズ等を踏まえ、指定管理者と連携し、利用環境の向上に努める。</p>